


様式第2号（第3条関係）
（会派用）

平成30年度政務活動費交付申請書

平成31年1月11日

湯沢市長 様
（湯沢市議会議長経由）

会派の名称 湯沢市議会 湯粋会
代表者氏名 代表 加藤昭嗣 

湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 32,990円

<内 訳>

（単位：円）

| 科 目 | 支 出 額 | 備 考 |
|-----------------|--------|----------------------|
| 調 査 研 究 費 | 32,990 | （うち政務活動費充当額 32,990円） |
| 研 修 費 | | |
| 広 報 費 | | |
| 広 聴 費 | | |
| 要 請 ・ 陳 情 活 動 費 | | |
| 会 議 費 | | |
| 資 料 作 成 費 | | |
| 資 料 購 入 費 | | |
| 人 件 費 | | |
| 事 務 所 費 | | |
| 事 務 費 | | |
| 支 出 合 計 | 32,990 | |

参考：申請上限額


| 交付月額 | 議員数 | 交付対象月数 | 上限額 |
|--------|-----|--------|----------|
| 5,000円 | 3人 | 12月 | 180,000円 |

既交付額 0円



様式第3号（第3条関係）
（会派用）

政務活動費実績報告書

会派の名称 湯沢市議会 湯粋会
代表者氏名 代表 加藤昭嗣 

| 整理 番号 | 年月日 | 内 容 | 経費項目 | 支出額 | 備考 |
|----------|-------------------------------------|---|-------|---------|----|
| 1 | 平成 30年 11月 20日 ～ 21日 | <p>◆平成30年11月20日（火） 午後1時30分～午後3時30分 視察先：山形県酒田市 （酒田市役所） 「中心市街地の空き店舗利用に ついて」</p> <p>◆平成30年11月21日（水） 午前10時～正午 視察先：山形県鶴岡市 （鶴岡市立図書館） 「市立図書館と郷土資料館につ いて」</p> <p>◆参加者：3人 加藤昭嗣、二郷準一郎、大山豪</p> | 調査研究費 | 32,990円 | |
| | | | | | |

- ・年月日は、支出の事実のあった年月日を記載する。
- ・内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

平成30年度

政 務 活 動 報 告 書

平成31年 1 月11日

湯沢市議会議長 佐 藤 功 平 様

湯沢市議会 湯粋会
代表 加 藤 昭 嗣



政務活動について、次のとおり報告します。

| | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|------------|---------------------------------|------------|----------------------------|
| 視察先 | 1) 山形県酒田市 2) 山形県鶴岡市 | | | | 平成30年11月20日 平成30年11月21日 |
| 政 務 活 動 内 容 | 月日 | 都市名 | 研修・要望等 項目 | 宿泊地 | 研修・要望先 |
| | 11月20日 | 山形県 酒田市 | 【調査研究事項】 1) 中心市街地の空き店舗利用について | 山形県 鶴岡市 | 酒田市役所 |
| | 11月21日 | 山形県 鶴岡市 | 【調査研究事項】 2) 市立図書館と郷土資料館について | | 鶴岡市立図書館 |
| 成果及び活用すべき事項 | 別紙「視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書」のとおり | | | | |



視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯粹会）

◆ 調査研究事項

○ 年月日：平成 30 年 11 月 20 日（火）、21 日（水）

○ 参加者：加藤昭嗣（代表）、二郷準一郎（幹事長）、大山豪（事務局長）

I 視察先：山形県酒田市

視察事項：中心市街地の空き店舗利用について

II 視察先：山形県鶴岡市

視察事項：市立図書館と郷土資料館について

【I 酒田市】

1. 目的

酒田市が取り組む中心商店街の振興事業の概要と現状、実績等を調査し、当市の取組の参考とする。とりわけ空き店舗の利用についても具体的事例を調査する。酒田市では、中心市街地活性化基本計画をもとに中心市街地を5つのエリアに分け、各個で複数の事業を展開し、民間との連携推進や中心市街地まちづくりセンターを設置するなどの本格的な事業が展開されている。現状、全国的に中心市街地の活性について様々な実践が行われているが、地方都市の駅前並びに中心市街地のまちづくりを活性させる取組の需要は高く、当市においても例外ではないことから、他市の事例を調査研究する意義があると考え、目的とした。

2. 酒田市並びに中心市街地の概要

酒田市は山形県の北西部、庄内地方の北部に位置し、北は鳥海山を望み、東は出羽丘陵、西は日本海に面し、庄内平野のほぼ中央に達し、最上川流域にある。現在の酒田市の中心市街地は、北前船の

往来によって栄えた歴史を今に伝える文化的資源が多数あり、商業、公共施設、公共交通網はもとより、明治以降、官公庁街として発展し、教育施設、医療施設、金融機関、社会福祉施設などの都市機能が集積している。高度経済成長以降、急激な車社会の進展により、市街地の拡大、商業集積の多極化に伴い、駅前や中心市街にかけて商店街の低迷がある。

3. 酒田市中心市街地活性化基本計画について

都市機能の拡散に歯止めをかけ、コンパクトに集積した、多くの人にとって暮らしやすい賑わいのあるまちづくりを達成するため、上記の計画を以って課題解決に取り組んでいる。現在行われている基本的な計画の概要は、中心市街地を特色ある5つのエリア（※1）に分け、機能向上や魅力向上のための整備を行っている。相乗効果を目的に各エリアの回遊性の向上を図る事業（市内循環バス路線等）も展開されている。

※1 駅周辺エリア（大型商業施設跡地、駅前広場、駅舎

視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯粹会）

を含めた玄関口整備）、中町エリア（新庁舎他、老朽化しつつある都市機能の更新）、山居倉庫エリア（倉庫、商業高校跡地、消防本署跡地他、空路・幹線道路の玄関口整備）、日和山・台町エリア（歴史・文化的資産が集積）、港エリア（市場、イベントエリア）

4. 空き店舗の利用について

当市と同様、空き店舗活用者への助成金等の支援を行っている。代表的なもので、酒田市は入居者支援助成金として、諸条件（営業期間、商店街組合加入、開業計画書提出等）を満たす者へ賃借料の1/2、60万円を限度に助成している。また、店舗改装のための助成金として賃貸する者を含め改装工事経費の1/2、100万円を限度に助成している。対象者は商店街区域内の空き店舗で小売業、飲食業、サービス業等の事業を開業する者である。実績として、①入居者支援助成金出店件数は平成13年度から平成29年度の累計で156件、特に平成23年度からの中心市街地まちづくり推進センター設置以降は利用者が毎年度二桁に至る。②改装助成金活用状況は年度によって増減はあるものの、平成18年度から平成29年度の累計で89件である。

ここで、中心市街地まちづくり推進センター（以下、センター）について記述する。このセンターは平成23年度から平成30年度まで設置されていた商店街対策のワンストップサービスの提供、空き店舗対策のセールスマン等をコンセプトにした総合的な個別相談支援窓口である。

職員は約6人体制で市職員や商工会議所職員、タウンマネージャー等で構成されている。このセンターが中心市街地の賑わい創出、空き店舗の活用推進、情報発信や人材育成の事業を実施し、特に空き店舗活用では借りる側、貸す側の実質的な支援の多くを担った。コンセプトにあるワンストップサービスの提供のとおり、新規出店希望者、開業者への支援とフォローアップを行い、新規来街者の増加や人材育成による空き店舗対策が強化される等の効果を狙った。

結果、出店後の持続性の成否は除き、前述の助成金活用による出店数にみえるように、一定の効果が認められると言える。目立った商店街の空き店舗率の減少はないものの、空き店舗の活用では一定程度は進んでいる。空き店舗の中には住居と一体となっているテナントも存在し、貸す意思のない数も調査で判明した空き店舗中約1/4にのぼる。特に1階部分が商店で2階部分が住居のテナントでは、トイレが1階にしかない等の理由で貸す意思のない具体例となっている。これは空き店舗率の算出にも影響しているということであった。尚、センターは平成31年以降、産業振興まちづくりセンターとして発展的に解消し、商品開発や販路拡大等の支援、多様な働き方の応援等を含めた運営がなされる。

5. 考察（研修を終えて）

・中心市街地まちづくり推進センターの

視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯粹会）

設置は、1つの組織として課題解決に

取り組む本気度の高さが伺えた

- ・調査資料から、中心市街地活性化の目標指標のうち、平日の公共・公益施設利用者が平成28年以降も増加に転じていることから、公共施設利用者の誘導が活性化への1つの材料として重要だと考えられる
- ・エリアごとに特性が分析され、それぞれに効果を狙った具体性の高い事業（計画掲載54事業）を多く展開している
- ・空き店舗を活用する課題は、当市に限らず、賃料や支援のあり方など共通した課題があると感じた
- ・建物の老朽化等による景観への影響が大きく、景観改善への課題も多い
- ・市民のみならず各所で歴史的、文化的な資産や施設を残そうとするコンセンサスが取られている印象だった

【Ⅱ 鶴岡市】

1. 目的

鶴岡市が設置している市立図書館と、併設された郷土資料館の概要、設置経緯等について調査する。地域の歴史・文化を保全・継承すること、教育・文化水準の維持・向上を目指すことは、市民福祉の向上に資し、行政の役割として大きい。公共施設再編の中にある当市の今後のまちづくりの参考にすると考え、目的とした。

2. 市立図書館と併設郷土資料館の概要

鶴岡市は、特筆すべきは江戸時代以降最上氏に変わり譜代大名の酒井氏となつて以来、13代250年間、庄内藩14万石の城下町として庄内の政治・経済・文化の中心として発展し、明治維新に至る。市立図書館は明治44年開設の私立鶴岡図書館が前身で、大正4年鶴岡町立図書館として設置された。戦前期当時は夜間開館（午後9時頃まで）を実施し、昭和51年図書館に隣接する形で郷土資料館を建設、昭和60年に現在の本館が新館として竣工した。それまで別であった郷土資料館を現在の本館2階に展示機能を移し、平成20年に郷土資料館として図書館に併設となる。図書収容能力は27万4千冊、鉄筋コンクリート造2階建である。郷土資料館は郷土の文化遺産、文献資料を取り扱う山形県内最初の文書館的施設として設置された。収集してきた郷土資料を保存し、散逸・消滅の危機にある民間の資料を調査・収集・受託して本格的な整理を行い、一般にも供用するというものであった。専門職員を配置し、古文書の解読作業等も実施している。分館を合わせた蔵書数は平成29年で394,141冊にのぼる。

3. 郷土資料館の重点施策

地域に根ざした郷土資料館づくりを掲げ、地元だけでなく全国からの調査研究のために、庄内地方の歴史研究拠点とし

視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書（湯粹会）

て大きな役割を果たしている。所蔵資料の整理の他、民間の史料調査を実施する傍ら、貴重な資料が散逸しないよう情報収集に努められている。定期的な企画展示、歴史講演会等を開催し、地域の情報拠点としての事業の推進、郷土の歴史の発信に努めている。

4. 図書館（本館・分館）の重点施策

生涯学習社会に対応する図書館づくりを掲げ、市民の学習ニーズの多様化・専門化の中で生涯学習活動を支援する施設として役割を果たしている。中でも「鶴岡市子ども読書活動推進計画」を推進している。頻繁に実施されている幼児、小・中学生、保護者等向けの読み聞かせ会や学校や幼稚園と連携した体験学習、見学受入等を行い、図書館に親しみを持てる機会を充実させている。

していると新たな歴史的発見がある理由の1つに、古文書の絶対数が多く解読に時間がかかることや、より重要である史料を目利きする能力も求められているようで、新たな知見であった

- ・定期的に実施する図書館のアンケート結果から、館長が読書には一生懸命な地域であると説明していたことが印象的であった

以上

5. 考察（研修を終えて）

- ・致道館ライブラリーや藤沢周平記念館をはじめとした教育・文化施設の多さ、大学の多さといったところだけでも鶴岡市が鶴岡駅前の「文化が見えるまち」という標語そのもので印象深かった
- ・郷土資料館が図書館と併設されていることから、書籍の管理やコストに合理性を感じた
- ・書庫を見学させていただき、膨大な資料の数に圧倒された。古文書の整理を

様式第2号（第3条関係）
（会派用）

平成30年度政務活動費交付申請書

平成31年3月5日

湯沢市長 様

（湯沢市議会議員経由）

会派の名称 湯沢市議会 湯粋会

代表者氏名 代表 加藤昭嗣



湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 130,166円

<内 訳>

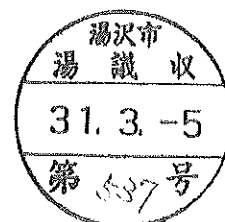
（単位：円）

| 科 目 | 支 出 額 | 備 考 |
|-----------|---------|-----------------------|
| 調 査 研 究 費 | 130,166 | （うち政務活動費充当額 130,166円） |
| 研 修 費 | | |
| 広 報 費 | | |
| 広 聴 費 | | |
| 要請・陳情活動費 | | |
| 会 議 費 | | |
| 資 料 作 成 費 | | |
| 資 料 購 入 費 | | |
| 人 件 費 | | |
| 事 務 所 費 | | |
| 事 務 費 | | |
| 支 出 合 計 | 130,166 | |

参考：申請上限額


| 交付月額 | 議員数 | 交付対象月数 | 上限額 |
|--------|-----|--------|----------|
| 5,000円 | 3人 | 12月 | 180,000円 |

既交付額 32,990円



様式第3号（第3条関係）
（会派用）

政務活動費実績報告書

会派の名称 湯沢市議会 湯粋会
代表者氏名 代表 加藤昭嗣 

| 整理 番号 | 年月日 | 内 容 | 経費項目 | 支出額 | 備考 |
|----------|------------------------|---|-------|----------|----|
| 2 | 平成 31年 1月 22日 | <p>◆平成31年1月23日（水） 午後1時30分～午後3時30分 視察先：千葉県成田市 （成田富里いずみ清掃工場） 「自治体の新電力事業について」</p> <p>◆平成31年1月24日（木） 午前10時～正午 視察先：千葉県香取市 （香取市役所） 「歴史的な町並みを活用したま ちづくりについて」</p> <p>◆参加者：3人 加藤昭嗣、二郷準一郎、大山豪</p> | 調査研究費 | 130,166円 | |
| | | | | | |

- ・年月日は、支出の事実のあった年月日を記載する。
- ・内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

平成30年度

政 務 活 動 報 告 書

平成31年 3 月 5 日

湯沢市議会議長 佐 藤 功 平 様

湯沢市議会 湯粋会
代表 加 藤 昭 嗣



宮原晃議員との合同視察研修について、次のとおり報告します。

| | | | | | |
|---|------------------------------|------------|--|------------|-----------------|
| 視察先 | 1) 千葉県成田市 | | | | 平成31年1月23日 |
| | 2) 千葉県香取市 | | | | 平成31年1月24日 |
| 政 務 活 動 内 容 | 月日 | 都市名 | 研修・要望等 項目 | 宿泊地 | 研修・要望先 |
| | 1月23日 | 千葉県 成田市 | 【調査研究事項】 1) 自治体の新電力事業について | 千葉県 成田市 | 成田富里いずみ 清掃工場 |
| | 1月24日 | 千葉県 香取市 | 【調査研究事項】 2) 歴史的な町並みを活用したまちづくりにつ いて | | 香取市役所 |
| 成 果 及 び 活 用 す べ き 事 項 | 別紙「視察研修・研修会・要請・陳情活動等報告書」のとおり | | | | |



様式第7号（第8条関係）
（会派用）

平成30年度政務活動費収支報告書

平成31年4月5日

湯沢市議会議長 様

会派の名称 湯沢市議会 湯粋会
代表者氏名 代表 加藤昭嗣



平成30年度政務活動費に係る収支について、湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第8条第1項の規定により、次のとおり報告します。

収入の部 (単位:円)

| 科 目 | 決 算 額 | 備 考 |
|--------|---------|-------------------------------|
| 交 付 金 | 163,156 | 1回目・32,990円・ 2回目・130,166円・ |
| その他の収入 | | |
| | | |
| 収入合計 | 163,156 | |

支出の部 (単位:円)

| 科 目 | 決 算 額 | 備 考 |
|-----------|---------|---|
| 調 査 研 究 費 | 163,156 | 1回目・平成30年11月20日～21日 実施 2回目・平成31年1月23日～24日 実施 |
| 研 修 費 | | |
| 広 報 費 | | |
| 広 聴 費 | | |
| 要請・陳情活動費 | | |
| 会 議 費 | | |
| 資 料 作 成 費 | | |
| 資 料 購 入 費 | | |
| 人 件 費 | | |
| 事 務 所 費 | | |
| 事 務 費 | | |
| 支出合計 | 163,156 | |



様式第6号（第7条関係）

平成30年度会計帳簿

会派名 湯沢市議会 湯粋会

収入

| 番号 | 月日 | 摘 要 | 交付額 |
|-----|------------|--------------------|---------|
| 1 | H31. 1. 31 | 平成30年度政務活動費交付金（入金） | 32,990 |
| 2 | H31. 3. 22 | 平成30年度政務活動費交付金（入金） | 130,166 |
| | | | |
| 合 計 | | | 163,156 |

支出

| 番号 | 月日 | 科目 | 摘 要 | 支出額 |
|-----|-------------|-------|---------|---------|
| 1 | H30. 11. 13 | 調査研究費 | 手土産代 | 4,880 |
| 1 | H30. 11. 17 | 調査研究費 | J R乗車券代 | 6,810 |
| 1 | H30. 11. 17 | 調査研究費 | J R乗車券代 | 6,810 |
| 1 | H30. 11. 17 | 調査研究費 | J R乗車券代 | 1,500 |
| 1 | H30. 11. 20 | 調査研究費 | 宿泊代 | 12,300 |
| 1 | H30. 11. 20 | 調査研究費 | タクシー代 | 690 |
| 2 | H31. 1. 22 | 調査研究費 | 手土産代 | 5,540 |
| 2 | H31. 1. 22 | 調査研究費 | 宿泊代 | 124,626 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合 計 | | | | 163,156 |

湯粋会：政務活動費領収証（調査研究費 平成30年11月20日～21日）

領 収 証

2018年11月17日

湯沢市議会 湯粋会 代表 加藤昭嗣 様

金6,810円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
湯沢801 No.000004

領 収 証

2018年11月17日

湯沢市議会 湯粋会 代表 加藤昭嗣 様

金6,810円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
湯沢801 No.000005

領 収 証

2018年11月17日

湯沢市議会 湯粋会 代表 加藤昭嗣 様

金1,500円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
湯沢801 No.000006

湯粋会：政務活動費領収証（調査研究費 平成30年11月20日～21日）

領 収 書

No. 059361

湯沢市議会 湯粋会
代表 田藤 昭嗣

様

平成30年11月20日

| | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 金額 | | | | | | | |
| | 4 | 1 | 2 | 3 | 0 | 0 | |

収 入

印 紙

但 泊代 ^{11/30} 1200 電話代

□延長料金

□その他

上記の通り正に領収致しました

| | | |
|---|-----|---|
| 内 | 現 金 | ✓ |
| 訳 | カード | ✓ |

HOTEL STAY IN 山王プラザ

〒997-0028 山形県鶴岡市山王町6-8
TEL 0235-35-0600 FAX 0235-35-0601



担当者

G No. 139518

領 収 書

平成30年11月13日

湯沢市議会 湯粋会 様

| | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|--|--|
| 金 額 | | | | | | | |
| | 4 | 4 | 8 | 8 | 0 | | |

| | | | |
|---|------|--|---|
| 内 | 商品価額 | | 円 |
| 訳 | 消費税額 | | 円 |

但し 代金として
上記の金額正に領収致しました
金額文字の訂正および社印なきものは無効です



株式会社



印
紙

係 員

本社工場 湯沢市字黄金原1番地 ☎73-5185
山王店 ☎863-3682 大曲店 ☎63-3166 湯沢店 ☎73-0141
東店 ☎889-3615 角館店 ☎53-3255 湯沢駅前店 ☎72-0677
外旭川店 ☎869-7227 トラスト店 ☎22-2205 千石町店 ☎72-5624
トピコ店 ☎834-7341 十文字店 ☎42-0331

支 払 証 明 書

金額 690 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

平成30年11月20日

会派の名称 湯沢市議会 湯粋会

代表者氏名 代表 加藤昭嗣

| | |
|---------|--|
| 内 訳 | 調査研究費 交通費 タクシー代 (1台) 690円 |
| 事 由 | 山形県鶴岡市の視察に係る、鶴岡駅から宿泊先への移動 についてタクシーを利用した。 |
| 債権者住所氏名 | 山形県鶴岡市日枝字鳥居上43番地の2 大和交通 株式会社 代表取締役社長 遠藤敏雄 |

領 収 書

2018年11月20日 -011

メーター運賃 ¥690円

合計 ¥690円

現金支払 ¥690円

車番 615

毎度ご乗車ありがとうございます。

大和交通(株)

〒997-0824

鶴岡市大字日枝字鳥居上43の2

お忘れ物 お問い合わせは
下記までご連絡下さい。

☎ 0235-22-7733

湯粋会：政務活動費領収証（調査研究費 平成31年1月23日～24日）

領 収 書

イ No 018588

湯沢市議会 湯粋会
代表 加藤昭嗣 様

3 / 年 / 月 22 日

| | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 金 額 | | | | | | | | 円 |
| | | | | | | | | |

但し 1月23日分 旅費（JR春田線、秋田バス、秋田市内タクシー）
（旅行券 円分含む）

上記金額正に領収いたしました。

| | | |
|-----|---|------|
| 現金 | ✓ | 取扱者印 |
| 小切手 | | |
| 振込 | | |
| 旅行券 | | |

ChuO Travel 株式会社中央タクシー

〒012-0857 秋田県湯沢市千石町1-6-30

TEL (0183) 72-5050(代)

FAX (0183) 72-5051

G No. 140055

領 収 書

3 / 年 / 月 22 日

湯沢市議会 湯粋会
代表 加藤昭嗣 様

| | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 金 額 | | | | | | | | 円 |
| | | | | | | | | |

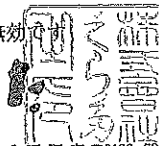
| | | |
|--------|--|---|
| 内 商品価額 | | 円 |
| 外 消費税額 | | 円 |

但し お菓子代として
上記の金額正に領収致しました

金額文字の訂正および社印なきものは無効です



株式会社



印
紙

係 員

本社工場 湯沢市字黄金原1番地 ☎73-5185
山王店 ☎018-863-3682 泉グランマ店 ☎018-838-5066 トラスト店 ☎0182-22-2205 千石町店 ☎0183-72-5624
東店 ☎018-889-3615 角館店 ☎0187-53-3255 横手店 ☎0182-32-2828 湯沢グランマ店 ☎0183-56-6112
外旭川店 ☎018-869-7227 大曲店 ☎0187-63-3166 十文字店 ☎0182-42-0331
トピコ店 ☎018-834-7341 イースモール店 ☎0187-62-8351 湯沢店 ☎0183-73-0141